

# 元山雅・高崎さん材料生産

## 白ヒラタケ餃子発売へ

ギョーザ製造・販売の信栄食品(松本市飯塚4)は、松本山雅FCなどで活躍した元プロサッカー選手・高崎寛之さんが生産する白ヒラタケを原料にした新商品「白ヒラタケ餃子」の販売を8月1日に

### 信栄食品

始める。高崎さんは食品製造業者・信州ファームランドの生産者として山形村で白ヒラタケを栽培しており、共同開発(コラボ)商品として企画した。



ギョーザの具材になる白ヒラタケを栽培する高崎さん

肉厚で弾力のあるキノコの食感を楽しむことができ、うま味を養うためにニンニクを使用していない。営業企画部の神倉まり奈さんは「白ヒラタケはキノコ独特の香りが少なく、ギョーザの具材に適している。高崎さんが丹精込めて育てたキノコを味わってほしい」と話している。

(松本市元気)



### 松本市長選で落選 菱山氏 選対本部解散

3月に行われた松本市長選挙に立候補し、僅差で敗れた新人で元信越放送専務の菱山晋一さん(69)の後援会は26日、松本市中上のホテルモンターニョ松本で選挙対策本部の解散式を開いた。約60人が出席し、菱山さんは「チエンスまっつもとという政治団体は残し、自身の今後は次の市長選挙も含めて検討する」と意欲を示した。写真。菱山さんは、市が松本パルコの閉店後に複合施設を設け、年間約3億円の賃料で20年間借りる計画を批判したこと、選挙結果を受けて計画が白紙となったとして「60億円の税金が無駄に使われなくて済んだ」と述べた。投票率が44・67%と過去最低だったことに危機感を示し、少子化対策や農業対策など中長期的な課題を挙げた。その上で「市政に関わることをやめることはない。何ができるかはこれから考えるが、情報発信は続けていく」と力を込めた。

(柳 純一)

7月のジャケットを身

### みすず野

ゲリラ豪雨という言葉が使われ始めたのはいつだっただろう。ネットをのぞいてみた。平成20(2008)年に新潟・流通館大貫トッポ10に漏出されていた。正式な気象用語でないことも分かった。従来使われていた、にわか雨や集中豪雨、夕立といった言葉をマスメディアが代用する形となったという◆夕立という言葉の響きが子供のころ好きだった。暑い夏の日、夕方になると大粒の雨が降り、心地よい涼をもたらしてくれるイメージがあったからだ。夕立後の空気が爽やかさを今も覚えてる。ゲリラ豪雨にそれはない◆ひとときり降ってすぐ晴れるにわか雨を、通り雨ともいう。シンガー・ソングライター宇多田ヒカルの曲に「真夏の通り雨」がある。メロディーや歌詞が胸に迫り、聴くといつも涙が湧く。6年前のライブで「真夏の通り雨」を歌い終えた彼女の目元に光るものがあるように見えた。作った本人も思い入れの強い曲なのかもしれない◆全国で毎年のように想定以上の災害をもたらすゲリラ豪雨が発生している。近年、天災は「忘れたころ」でなく「忘れる前」にやってくるといわれる。ひとことにせず、備えよう。

2024. 7. 28

# YAMOTO FESTIVAL 2024.8.9 fri ▶ 9.4 wed

間中、市民によってフェスティバルを歓迎する"オープンイベント"。交流イベントが数多く開催されます。

入場無料  
申込不要

奏楽パレード・合同演奏会

スクリーンコンサート